

令和7年度事業報告書概要（大井ふ頭中央海浜公園外14公園）

指定管理者：アメニス海上南部地区グループ

1 管理状況

○適切な管理の履行

・建物管理

事務所・トイレ・運動施設更衣室等の建物管理における日常清掃・定期清掃において、日常清掃および定期清掃を適切に実施しました。特にトイレの衛生状態は公園全体の印象に大きく影響するため、利用頻度に応じた清掃回数を考慮し、計画数の2倍の清掃を実施することで快適かつ衛生的な利用環境の維持に努めました。



<清掃の様子>

・園地管理

利用者に快適な利用環境を提供するため、日常巡回により把握した各エリアの特性を踏まえ、利用頻度の高い箇所を中心に、清掃や除草・草刈りを実施しました。ふ頭緑道公園、城南島海浜公園キャンプ場においては、利用者の利便性を考慮し、草の繁茂状況に応じて随時草刈りを実施しました。

また、通常清掃に加え、不法投棄が多いエリア、冬季の落葉が多いエリアの作業を追加し、全ての園地で計画数以上の清掃を実施しました。

京浜島緑道公園で発生した度重なるオムツの不法投棄については、即日回収することに加えて、除草による見通しの確保や地元と調整の上、注意喚起の看板を設置するなどの対策を講じました。看板設置後は不法投棄は確認されず、抑止効果が見られました。



<草刈り>



<不法投棄清掃>



<落葉清掃>



<京浜島緑道公園>

・樹木管理

今年度は令和6年度に実施した全15公園の樹木調査を踏まえ、新たに発生した枯損木などの追加調査を行い、引き続き優先順位を付け計画的に樹木の伐採作業を進めました。また、造園に関する豊富な知識や経験を有するスタッフによる日常巡回を通じ、公園の特性や植栽の目的を踏まえながら、その場所に適した機能的な剪定を行いました。さらに、新たに「要望発生マップ」を導入し、要望が多く寄せられるエリアを事前に把握・想定し、事前の備えを強化したことで、迅速な現場対応を実現しました。



<樹木点検の様子>



<支障枝剪定>



<要望発生マップ>

○安全性の確保

・緊急時対応、安心できる環境形成

突発的な事象に対し、被害を最小限に抑えるため、災害・緊急時への万全な備えを行いました。具体的には、大規模地震や火災を想定した避難訓練を実施し、非常用放送設備、消火器、消火栓ホースを用いた実践的な訓練を行いました。また、大井消防署八潮出張所長の立ち合い・指導の下、初期消火、避難誘導等の一連の対応手順を確認するとともに、消防用設備の適切な取扱方法について指導を受け、スタッフの危機管理意識を高めることができました。

2 事業効果

○ 事業の取組

・イベントチラシ等のデザイン刷新

イベントチラシ等の制作において、新たにデザインソフトを導入し、ビジュアル面を全面的に刷新しました。「手に取りたくなるデザイン」へと一新したことで、園内掲示板やSNSでの注目が高まり、利用者の参加意欲の向上に繋がりました。さらに、従来は往復はがきで行っていたイベント申込を二次元コードからWebフォームへアクセスするオンライン申請へと移行しました。その結果、昨年度と比較し、2倍以上の申込み数となりました。



<R6年度>



<R7年度>



<R6年度>



<R7年度>

・やしおプレイパークの開催による低利用エリアの活性化

京浜運河緑道公園において、従来利用が低調であったエリアの活性化と地域の賑わい創出を目的に「プレイパーク」を実施しました。地域ボランティア団体および八潮自治会と密接に連携し、八潮団地を拠点とする地域団体と協働することで、既存の広場を「子どもが安心して自由に遊べる拠点」へと転換する第一歩としました。参加者が147名と想定を上回る集客を実現しました。



<ツリーエリア>



<ロープエリア>



<絵本エリア>



<木工エリア>

・大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森に新たな駐車場を設置

ソーラーカーポート設置工事に伴い、既存駐車場の一部が長期閉鎖となることから、利用者の利便性低下を防ぐため、新たに駐車場を整備しました。これにより、工事期間中においても駐車台数を確保し、利用者への影響を最小限に抑えることができました。



<駐車場>

○ 利用の状況

・大井ふ頭中央海浜公園 令和7年度の来園者数：373,795人

・城南島海浜公園 令和7年度の来園者数：295,663人

○ 行政目的の達成

・2025年世界陸上競技選手権大会及びデフリンピックへの協力

世界陸上競技選手権の練習会場として大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場が利用されました。利用に際し、関係機関との事前協議を入念に行い、大会期間を通し選手および公園利用者の安全確保を図るとともに、円滑な運営に向けて公園全体として最大限の協力をしました。また、デフリンピックにおいても同様に、関係機関と連携し、安全かつ円滑な運営に協力しました。

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		641,868
内 訳	指 定 管 理 料	553,512
	利 用 料 金	88,356
支 出 計		647,148
収 支 差		-5,280

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。